

雪下ろし除雪作業の安全ガイド



青森市都市整備部 道路維持課

はじめに

本市は、人口30万人規模の都市としては、国内はもとより世界でも有数の多雪都市であり、県庁所在地としては全国で唯一、市全域が特別豪雪地帯に指定されていることから、市民の雪処理への関心が高く、冬期間の安全・安心のための雪対策の充実が求められています。

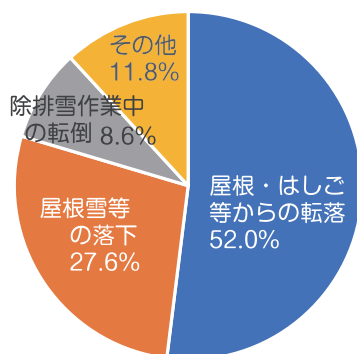
しかしながら、毎年、屋根の雪下ろしや除排雪作業の際に市民の方々が犠牲となる死傷事故

は後を絶ちません。

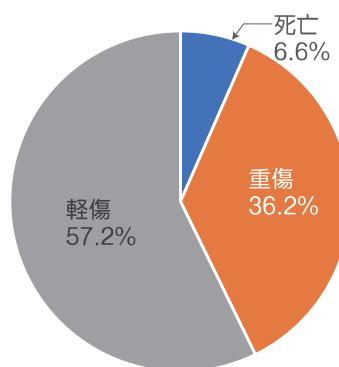
このような状況の中、本市における死傷事故防止に向けた安全対策の普及啓発を推進するため、雪下ろしや除排雪作業時のポイントをまとめた「雪下ろし除雪作業の安全ガイド」を作成しました。

命を大切にするために、体力に合わせて無理をせず安全な作業を心がけましょう。

除雪作業中の事故原因



傷病程度



令和2~4年度の雪下ろし等の事故状況（青森市調べ）



雪下ろし・除雪作業中にこんな事故が起きています

屋根から雪やスノーダンプと一緒に転落



屋根に上がろうとしてはしごから転落



軒先からの落雪



除雪作業中に水路や側溝に転落



除雪機による巻き込み



除雪作業中に発病・発症





雪下ろし除雪作業の安全ガイド

(STEP 1) 準備編



雪下ろしの心得と装備

- ・必ず2人以上で
- ・無理はしない
- ・携帯電話や笛を忘れずに
- ・安全な装備
- ・除雪道具のこまめな手入れ

(STEP 2) 確認編



はしごの固定と安全確保

- ・はしごの固定を忘れずに
- ・足場の確認
- ・アンカーの確認

(STEP 3) 作業編



雪下ろしのチェックポイント

- ・まわりに雪を残して
- ・落雪注意
- ・周囲への注意
- ・雪下ろし後の除排雪

資料編

命を大切にするための雪下ろしお役立ち情報

- ・屋根の雪下ろしに関する助成や支援
- ・屋根の雪下ろし事業者
- ・「市民雪寄せ場」の募集
- ・雪下ろし安全用具の無料レンタル

■ チェックリスト

「雪おろシグナル」 国立研究開発法人防災科学技術研究所

「雪おろシグナル」は、雪下ろしのタイミングを判断するのに役立ちます。

- ① お住まいの地域に降り積もった雪の重さが分かります。
- ② “雪の重さ”と“危険度”を色分けしています。

※「雪おろシグナル」は、雪下ろしを全く行ってない場合を想定しています。





STEP1 準備編 (雪下ろしの心得と装備)

必ず2人以上で

- 予期せぬ危険等を防止するため必ず2人以上で行いましょう。
- 1人で行う場合は、家族はもちろん隣近所への声掛けも重要です。



無理はしない

- 体調を考えて無理はしないようにしましょう。
- 屋根に上る前に準備運動をしましょう。
- 疲れたらこまめに休憩をとり、水分補給などをしましょう。



携帯電話や笛を忘れずに

- 屋根からの転落や軒先からの落雪による緊急事態に備えて、作業の時には携帯電話や笛（ホイッスル）を身に着けましょう。
- いざというときに気づいてもらえるように携帯電話のマナーモードを解除しましょう。



実施者からの声 その1

Q: 雪下ろしをする際に心がけることは何ですか？

A: もちろん、安全第一が大切ですが、作業後の家族との団欒や近所の住民との交流会など、楽しみを想像しながら頑張ることです。

A: きれいに整然と雪を下ろすことで作業を楽しみながら行っています。

Q: 雪下ろしの作業で良い点は何ですか？

A: 作業後の一服や差し入れで癒されることです。

A: 近所の人たちとコミュニケーションを取り、親しくなることもあります。

A: 冬場における数少ない運動機会でもあります。





安全な装備

- ヘルメットは必ず使いましょう。
- 命綱を付けるため、ハーネスを装着しましょう。

命綱とハーネスの装着



用具の説明

<p>ヘルメット</p> <p>クライミング用など高所での使用を想定したものを使いましょう。 ※アゴひもは忘れずに装着する。</p> 	<p>ロープ (命綱)</p> <p>ロープは丈夫なクライミング用を使いましょう。 ※トラロープは強度がないため使わない。</p> 
<p>カラビナ</p> <p>命綱をハーネスやアンカーに繋ぐことができる金属リングです。強度のあるクライミング用などを使いましょう。 ※安全環付を使用する。</p> 	<p>落下防止装置 (フォールアレスター)</p> <p>一定方向に墜落した場合や急に加速した場合にロックする作りになっています。</p> 

除雪道具のこまめな手入れ

- スコップやスノーダンプなどの除雪道具は雪が付きにくくなるスプレーを使用するなど、使いやすくしておきましょう。
- 命綱や道具などは、こまめに手入れ・点検しましょう。
- ハーネスにねじれがないか確認しましょう。

- カラビナはしっかりロックできているか確認し、落としたものは使用しないようにしましょう。





STEP2 確認編 (はしごの固定と安全確保)

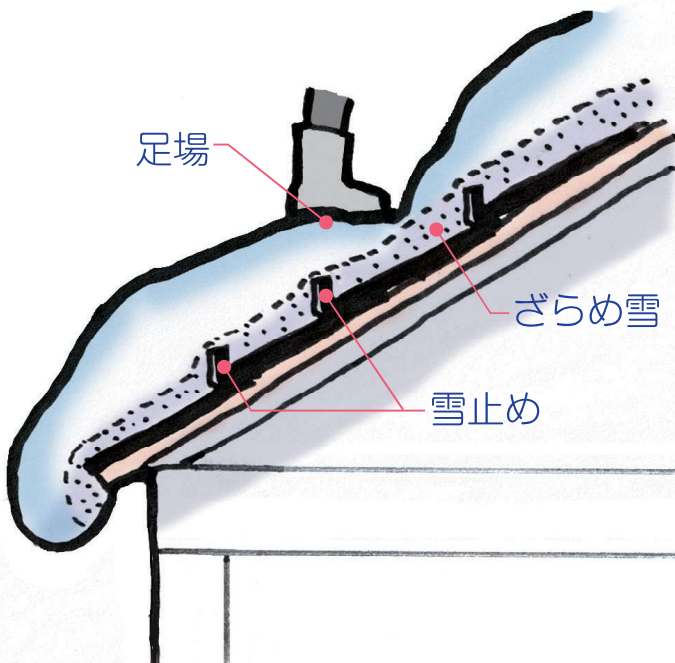
はしごの固定を忘れずに

- 斜め屋根（切り妻屋根等）の妻側は横ズレするので、軒先側に立てましょう。
- はしごは適正な角度で、足場をしっかりと固めたり、もう1人がしっかり支えるなどしましょう。
- 軒先から少し高く立てましょう。
- はしごの上で雪庇を落とすなどの作業は絶対にやめましょう。

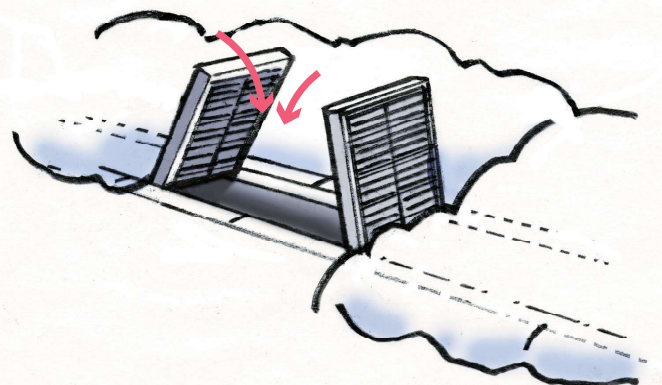


足場の確認

- トタン屋根は滑るので、つなぎ目に足を置いて足場を作りましょう。
- 低い屋根でも大怪我や死亡事故に繋がるため、油断は禁物です。
- 雪庇（屋根の端）の確認をしましょう。無落雪屋根でも確認が必要です。



- 水路等への転落事故も見られるため、軒下に流・融雪溝があるときは蓋が締まっているか確認しましょう。



アンカーの確認

- アンカーを取る場合、ロープは太い木の幹や車のホイールなど強度のあるものに固定しましょう。
- 命綱は、ハーネス・アンカーと一緒に使用することで効果を発揮します。



ロープの結び方

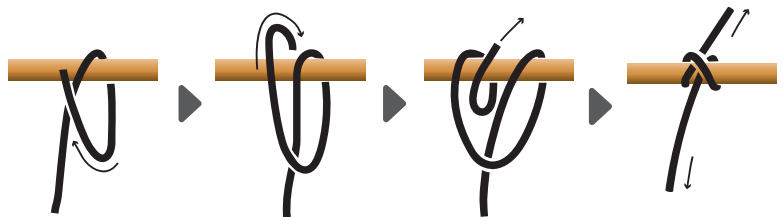
エイトノット (8の字結び)

カラビナにかける輪を作るための基本技です。命綱の長さ調整にも使えます。



インクノット (巻き結び)

命綱をアンカーや道具に結び付けるときに使います。結び目が単純なので、止め結びを施すとより安全です。



その他の安全対策

- ① 屋根上でのロープ固定テクニック
作業範囲以外（屋根の端）に行かないように、ロープを固定する。
- ② 手袋の注意点
雪が付く軍手ではなく、ゴム手袋等保温性のある雪が付かない手袋にする。
- ③ スコップを落下させないテクニック
スコップ等は、ロープやスリングなどを使い、落下させないように。しかし、いざというときは一緒に落下しないように手から放す。



STEP3 作業編 (雪下ろしのチェックポイント)

まわりに雪を残して

- 転落した場合のクッションになるように、建物のまわりに雪を残して雪下ろしをしましょう。



落雪注意

- 暖気した時は屋根雪がゆるむので、無理に屋根に上らないようにしましょう。
- 屋根からの落雪や転落に注意しましょう。



- 屋根の雪庇を下から落とす場合は、落雪等による事故の危険があるため注意しましょう。



周囲への注意

- 雪を下ろす場所には通行人がいないことを確認してから下ろしましょう。
- 2人以上で声を掛け合しましょう。



- 軒下に窓がある場合は窓ガラスを避けるため、真下に落とすのではなく少し遠くへ落としましょう。



雪下ろし後の除排雪

- 雪下ろしの仕上げは除排雪とセットです。
- 除雪機の作業には十分気を付けましょう。

除雪機の事故防止ポイント

作業中は周囲に人がいないか確認！



除雪機から離れるときはエンジンを切る！



雪詰まりはエンジンを切って必ず雪かき棒を使う！



後進するときは足元や後方の障害物に気を付けて！



実施者からの声 その2

Q：雪かきを手早く簡単に行う方法がありますか？

A：四角く切って排雪するか、積み上げることで作業が早く進みます。

Q：雪下ろしや除排雪で意識することは何ですか？

A：作業は危険であるという緊張感を持ち、作業終了後に家に入るまで気を抜かないことです。

Q：万が一作業中に屋根から雪と一緒に落ちた場合はどうしますか？

A：事前に軒下の状況を把握しておくことが大切です。

A：屋根の真下に落ちると危険なので、屋根雪に潰されないように少しでも遠くに飛び跳ねるようにしています。



(1) 屋根の雪下ろしに関する助成や支援

① 屋根の雪下ろし費用の一部助成

65歳以上のかたの世帯、障がいのあるかたの世帯、母子世帯などで、一定の要件に該当する世帯を対象に業者等が実施した屋根の雪下ろしにかかった費用の一部を助成します。

問合せ先
福祉部福祉政策課
017-734-5313

② ボランティアによる屋根の雪下ろしに関する支援

65歳以上のかたの世帯、障がいのあるかたの世帯、母子世帯などで、一定の要件に該当する世帯を対象に積雪1メートルを超えた場合、ボランティアによる屋根の雪下ろしを行っています。

※本支援は、ボランティアの申込状況等により対応できない場合があります。

問合せ先
青森市社会福祉協議会
017-723-1340
福祉部福祉政策課
017-734-5313

③ 融雪施設に関する融資・助成

市民や企業などが金融機関から貸付を受けてロードヒーティングや融雪機・融雪槽、屋根雪処理施設（屋根融雪施設・無落雪屋根）を設置する際に、その利子の全部または一部を市が負担します。

問合せ先
都市整備部建築指導課
017-752-8193

(2) 屋根の雪下ろし事業者

雪下ろしや排雪が出来る事業者を市民に情報提供しています。市が斡旋するものではありません。

屋根の雪下ろし等は、依頼者と事業者との契約になるため、作業内容や費用等を事前に確認しましょう。

問合せ先
都市整備部道路維持課
017-752-8584

(3) 「市民雪寄せ場」の募集

地域の雪寄せ場として町会へ土地を無償で貸していただける方を募集しています。市民雪寄せ場として貸していただいた場合、翌年度の固定資産税の一部を減免しています。

問合せ先
都市整備部道路維持課
017-752-8584
浪岡振興部都市整備課
0172-62-1168

(4) 雪下ろし安全用具の無料レンタル

雪下ろし等の死傷事故防止のため、除雪ボランティア活動団体等への支援として、活動に使用する雪下ろし安全用具の無料貸出を行っています。数に限りがありますので、事前にお問合せください。

問合せ先
都市整備部道路維持課
017-752-8584

無料レンタル用具一式



—— 本書の作成に協力いただいた方々 ——

(コーディネーター) 弘前大学 大学院地域社会研究科 教授 平井太郎

(専門家) 有限会社みちのく造園 8mountain 事業部 安全係 代表 玉熊 訓

(協力者) 高校生をはじめとしたワークショップにご参加いただいた方々

安全な雪下ろしのためのチェックリスト

～あなたは除雪の時にどんな備えをしていますか？～

☑それぞれの項目に
チェックしてください

あなたの雪下ろし作業安全度（チェックの数をご記入ください）

20

1. 雪下ろしの心得と装備

【必ず2人以上で】

- 予期せぬ危険等を防止するため必ず2人以上で行っていますか？
- 1人で行う場合、家族や隣近所への声掛けをしていますか？

【無理はしない】

- 体調を考えて無理はしないようにしていますか？
- 疲れたらこまめに休憩をとり、水分補給などしていますか？

【携帯電話や笛を忘れずに】

- 屋根からの転落や軒先からの落雪による緊急事態に備えて、作業の時には携帯電話や笛を身に着けていますか？

【安全な装備】

- ヘルメットを使っていますか？

【除雪道具のこまめな手入れ】

- スコップやスノーダンプなどの除雪道具は雪が付きにくくなるスプレーを使用するなど、使いやすくしていますか？
- 命綱や道具などは、こまめに手入れ・点検をしていますか？

2. はしごの固定と安全確保

【はしごの固定を忘れずに】

- 斜め屋根（切り妻屋根等）の妻側は横ズレするので、軒先側に立てていますか？

【足場の確認】

- トタン屋根は滑るので、つなぎ目に足を置いて足場を作っていますか？

【アンカーの確認】

- アンカーを取る場合、ロープは太い木の幹や車のホイールなど強度のあるものに固定していますか？
- 命綱は、ハーネス・アンカーと一緒に使用していますか？

3. 雪下ろしのチェックポイント

【まわりに雪を残して】

- 転落した場合のクッションになるように、建物のまわりに雪を残して雪下ろしをしていますか？

【落雪注意】

- 暖気した時は屋根雪がゆるむので、無理に屋根に上らないようにしていますか？
- 屋根からの落雪や転落に注意していますか？
- 屋根の雪庇を下から落とす場合は、落雪等による事故の危険があることに注意していますか？

【周囲への注意】

- 雪を下ろす場所には通行人がいないことを確認してから行っていますか？
- 2人以上で声を掛け合うようにしていますか？

【除雪機の事故防止】

- 作業中は周囲に人がいないか確認していますか？
- 除雪機から離れる時はエンジンを切っていますか？

万が一、事故が発生したら119番に通報してください！